

# 全国、関東大会へ出場

## 小川卓球スポーツ少年団女子チーム 2年連続全国ホープス卓球大会出場



左から関さん、尾島さん、安藤さん、山崎さん

6月3日、鹿沼市体育館で開催された第25回全国ホープス卓球大会兼第21回東日本プロック大会県予選で小川卓球スポーツ少年団女子チーム（関、尾島、安藤、山崎）は、見事なチームワークで相手を圧倒し、予選から決勝までの6試合ともすばらしい快進撃を見せて優勝し、2年連続で全国大会への切符を手にした。

昨年優勝の原動力だった上級生3人が抜け、6年生は関さん1人となったにもかかわらず、予選リーグが始まると

全員が一丸となり4連勝で決勝トーナメントに勝ち上がりました。準決勝の城山クラブとの対戦では相手がオーダーの記入ミスで失格となるアクシデントで、労せず決勝に駒を進めると、華卓会Aとの決勝戦も危なげなく3対1で優勝、全国大会への出場を決めました。

8月8日から10日にかけて東京体育館で行われた第25回全国ホープス卓球大会は、予選リーグ1勝2敗の3位で残念ながら決勝トーナメント進出はなりませんでしたが、全国大会で1勝した実績はすばらしく、これからの活躍が期待されます。

川上さん、豊田さん  
全日本カデットの部出場  
おめでとう！

8月2、3日、宇都宮市の清原体育館で行われた全日本卓球選手権大会カデットの部県予選において、13歳以下女子の部で川上愛可さん、豊田真望子さん（小川中1年）が

### 小川卓球スポーツ少年団女子チームメンバー紹介

**関 陽香** ⑥（小川）  
（数字は学年）  
小学1年生から卓球を始める。2年生で県バンビ1位、4年生で県カブ2位となり全日本選手権大会に出場。全国大会は今回5度目の出場。キャプテンとしてチームのまとめ役。

**尾島 奏穂** ④（茂木町）  
幼稚園の年中から卓球を始める。年長で県バンビ2位となり、全日本に初出場。その後県予選で4連覇し、2年生の時バンビの部で全国ベスト16に入る。

今年2月に当チームに移籍。全日本選手権に5年連続、全国選抜に2年連続出場しているが、全国ホープスは初出場。

**安藤 加織** ④（小川）  
小学2年生の3学期から卓球を始める。経験は1年半ほどだが、3月の新人戦ではカブの部でベスト8に入賞。5月の全日本予選でも健闘し、ベスト4まであと1歩だった。団体戦では主にシングルスに出場。全国大会は初出場。

**山崎 真衣** ④（小川）  
小学2年生の3学期から卓球を始める。経験は1年半と浅いが、団体戦では主にダブルスの選手として活躍。県予選決勝では貴重な勝利を上げ、優勝に貢献。全国大会は初出場。

### 小川卓球スポーツ少年団女子チーム 全国大会出場までの足跡

●県予選（第21回全国ホープス東日本プロック卓球大会栃木県予選会）

|      |       |         |     |
|------|-------|---------|-----|
| 6月3日 | 予選リーグ | 華卓会B    | 3対1 |
|      |       | 佐野ジュニアB | 3対0 |
|      |       | 北犬      | 3対0 |
|      |       | 河内クラブ   | 3対1 |

|          |       |     |  |
|----------|-------|-----|--|
| 決勝トーナメント |       |     |  |
| 準決勝      | 城山クラブ | 3対0 |  |
| 決勝       | 華卓会A  | 3対1 |  |

●全国大会（第25回全国ホープス卓球大会）

|      |       |           |     |
|------|-------|-----------|-----|
| 8月8日 | 予選リーグ | 星野クラブ（大阪） | 1対3 |
|      |       | ウーミン（三重）  | 3対1 |
|      |       | 堀金JTC（長野） | 2対3 |

※年齢の下の者が上のクラスへの出場は可能  
（14歳以下・15歳以下の2部がある）

カデット：中学2年生以下

ホープス：小学6年生以下

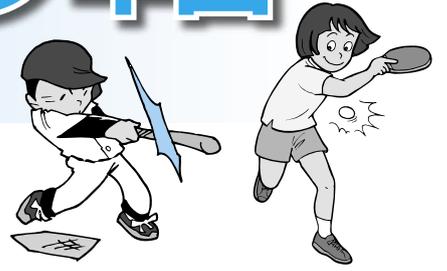
バンビ：小学2年生以下

ジュニア：高校2年生以下

カブ：小学4年生以下

全日本卓球選手権大会の年齢別種目

# 小川卓球スポーツ少年団 小川中学校野球部



## 小川中野球部、県中学総体初優勝し関東大会へ

7月28日から県営球場ほかで開催された第60回栃木県中学校軟式野球大会で小川中学校野球部は接戦を制して勝ち進み、決勝戦を迎えました。決勝戦は阿久津中（高根沢町）と対戦し、1対1のまま両チームとも譲らず延長戦に突入。延長9回、小川中は一挙に3点を挙げ、4対1で勝ち、初優勝を飾りました。

## 初出場の関東大会

8月7日から10日にかけて府中市民球場ほかで開催された第32回関東中学校軟式野球大会では1回戦、鉾田南中（茨城県）と対戦しました。両チーム無得点のまま延長戦に入ると8回の表、小川中が待望の1点を挙げ、1対0で制しました。

2回戦は常盤平中（千葉県）と対戦しました。試合は両投手の息詰まる投手戦となりましたが、先にチャンスをつかんだのは小川中でした。3回の表に2、3塁の出塁としますが、得点に結びつきません。その後、5回の表に連続四死球で1アウト満塁のチャンスを迎えました。しかし、その後のスクイズが好守に阻まれ、無得点に終わりました。そして6回の裏、相手チームに先制点を奪われ、その後、スクイズで1点を追加されてしまいます。最終回、小川中はランナーを出しますが、点には結びつかず、0対2で惜しくも敗れてしまい、全国大会への出場はなりません。



た。敗れたとは言え、県大会優勝並びに関東大会への出場は南那須管内でも初めてのことで、選手たちの残した快挙に拍手を送りたいと思います。なお、2回戦で対戦した千葉県の常盤平中学校が優勝しました。

## 小川中学校メンバー紹介

| 背番号 | 選手名 (数字は学年)  | 守備  |
|-----|--------------|-----|
| 1   | 藤拓也 ③ (主将)   | 投手  |
| 2   | 佐藤侑平 ②       | 捕手  |
| 3   | 内田健 ③        | 1塁手 |
| 4   | 磯昌一樹 ③ (副主将) | 2塁手 |
| 5   | 石井一成 ①       | 3塁手 |
| 6   | 福田悠也 ②       | 遊撃手 |
| 7   | 沼田敦志 ②       | 左翼手 |
| 8   | 板山知広 ③       | 中堅手 |
| 9   | 太田友樹 ②       | 右翼手 |
| 10  | 薄井史彦 ③       | 内野手 |
| 11  | 板山篤史 ③       | 投手  |
| 12  | 清水湧介 ③       | 外野手 |
| 13  | 和氣有一良 ③      | 外野手 |
| 14  | 岩政輝陽 ③       | 外野手 |
| 15  | 平山貴真 ③       | 外野手 |
| 16  | 佐藤真也 ③       | 内野手 |
| 17  | 平澤慎 ②        | 内野手 |
| 18  | 星賢 ②         | 内野手 |

## 小川中学校関東大会出場までの足跡

- 地区予選 (第60回栃木県中学校軟式野球大会)
  - 7月21日 1回戦 9対1 烏山中
  - 7月22日 2回戦 2対0 馬頭東中
  - 7月22日 3回戦 4対1 下江川中
- 県大会 (第60回栃木県中学校軟式野球大会)
  - 7月28日 4回戦 1対0 中村中
  - 7月29日 5回戦 2対0 陽西中
  - 7月29日 6回戦 3対1 田沼東中
  - 7月30日 7回戦 3対2 矢板中
  - 7月31日 8回戦 4対1 阿久津中
- 関東大会 (第32回関東中学校軟式野球大会)
  - 8月8日 1回戦 1対0 鉾田南中 (茨城県)
  - 8月9日 2回戦 0対2 常盤平中 (千葉県)